



校長室だより 足立区立第九中学校

第66号 平成28年6月28日発行 長塚琢磨



【個性を伸ばし実力をアップする夏！】

夏休みは、学力や体力、スポーツや文化・芸術など様々な力がアップする時期です。6月29日（水）から始まる三者面談を生かしていただき、生徒にとって有意義な夏休みになるよう御指導をお願いいたします。

生徒には、6月22日（水）の終礼で、「ありがとう」という話と「強さの裏側」という話をして、4月から6月までの3ヶ月を振り返り、新たな具体的な目標を設定するよう話しました（下のコラム参照）。

また、そのために、三者面談を活用するよう話しました。保護者の皆様には御多用とは存じますが、生徒の素敵なおところ、成長したところ、まだ伸び悩んでいるところなど、生徒・保護者・教員の三者で、確認してください。そして、より素敵なお人間に成長するよう、具体的な目標設定とそれに向けて努力する意欲を高められるよう御協力をよろしくお願いいたします。



【健康のための自己管理能力！】

6月に歯科健診があり、本校では「むし歯」のある生徒がずいぶんいることがわかりました。歯の健康管理をよろしくお願いいたします。

保健室前の掲示板には、歯について知るための手作りポスターが掲示してあります。そこには、「歯はからだ全体の健康に関係している」「歯の構造」「スポーツは歯が命」など大変重要な内容が書かれています。

また、毎日の歯磨きは、子供の頃から自己の健康を管理する力を身に付ける活動であるともいわれています。生涯にわたって自己の健康管理をする力の育成の視点からも歯磨き習慣の徹底をお願いいたします。



コラム：6月22日の校長の話「ありがとう」「強さの裏側」 「ありがとう」

学校公開では保護者や地域の方以外にも、大学教授や東京都教育委員会の方がいらっしやいました。私は、来校した方々から「授業態度がとても良いですね」「挨拶が素晴らしいですね」といわれ、「素敵な学校を見せてくれてありがとうございます」と褒められました。

立派な態度で学校の素敵さを示してくれたのは生徒の皆さんです。その言葉を皆さんに返すとともに、九中の誇りを見せてくれた皆さんに御礼を言います。本当にありがとう。

「強さの裏側」

世界中の様々な国の体操競技選手が、世界選手権を6連覇している内村航平選手の練習等を見て、彼の強さを知りたいと日本にきています。内村航平選手は、トレーニング時間が長いだけではなく、難しい技でも世界一美しいできばえにする努力を惜しみません。つまり、練習量も練習の質も世界一といわれています。（本気の顔つきで全力で取り組んでいます。）強いといわれる人やチームは、必ずその裏側に自分に勝つ努力があることを学びました。

スポーツでも、文化・芸術でも、勉強でも同様です。素敵な皆さんが、強さの裏側を充実させ、さらに素敵になるよう共に頑張りましょう。

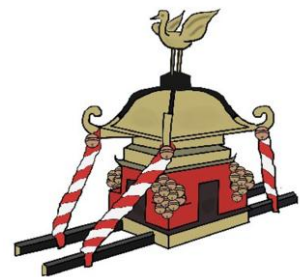


【素敵な地域！本祭に向けてのエネルギー！】

6月21日（火）の夜に、梅田睦連合会の会合がありました。本校からは、私とPTA会長、後援会長の3人が出席しました。

今年は、3年に一度の本祭の年であり、9月3日・4日に、八町会が九中に集結し、みこしをかつぐこととなります。地域の伝統・文化の素晴らしさを味わってほしいと思います。会合では、日頃から学校や地域のために頑張ってくださっている八町会の方々にお会いし、そのたのめしさに触れ、大変感激しました。ありがとうございました。

保護者や地域の皆様には、9月の本祭をはじめ、地域の様々な行事等に生徒と共に参加し、地域の素敵さを生徒に感じさせてあげたいと考えています。



【クラリネット等をお譲りいただけますか？】

現在、吹奏楽部は夏のコンクールに向けて全力で取り組んでいます。しかしながら、楽器が不足している状況で、委員会にお願いしていますが確保できていません。他の学校で使用していたものをまわしていただき、修理して活用する予定ですが、クラリネット等が確保できそうにありません。

つきましては、御家庭やお知り合いの方で使わなくなったクラリネット等がございましたら御連絡いただければ幸いです。今年も、より高い目標をもち頑張っている九中吹奏楽部の生徒のために、お譲りいただきたくお願いいたします。



【保護者から紹介していただいた詩】

先日、保護者の方と話していて、とても良い詩があると教えていただきました。五世紀のペルシアの詩だそうです。この詩を読んでみて、子供には無限の可能性があり、今まで育てきた自分を基本に考えるのではなく、生徒一人一人の個性を踏まえ、未来を自ら拓くエネルギーや創造性を育成していこうと改めて感じました。ありがとうございました。

父母であること

五世紀のペルシアの詩

あなたは、子供たちに愛を与えることはできるが
あなたのものの考え方を与えることはできない
なぜなら、子供たちは子供たち自身の
ものの考え方をもっているからだ

子供たちのからだの

世話をすることはできるが

彼らの魂をそっくり飼いならすことはできない

なぜなら、彼らの魂は明日という

住み家に息づいているからだ

あなたは、

子供たちのようになると努めてもよいが

子供たちを

あなたのようにしようなどとしてはいけない

なぜなら、

人生は後ろ向きに進んでいくものでもないし

昨日のまままでとどまっているものではないのだから